

消化器内科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

消化器疾患に対する必要な診断能力と患者管理ができる臨床能力を習得する。

2 消化器内科研修の特徴

上部・下部消化管, 肝・胆・膵疾患など, それぞれの専門家のもとで高度な研修が可能である。
多くの救急患者(消化管出血や急性腹症)を経験できる。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

指導医とペアで診療することにより, 病態の把握, 検査・治療の具体的なスケジュールや, 主義を学ぶ。

4 目標達成の評価

チーム医療としての診療態度や, 診断・治療の技量, 経験した疾患や手技などに関して指導医が評価を行う。
ローテーション終了時に指導医や看護部による総合的評価を受ける。

5 検査

内視鏡検査や血管造影検査, 超音波下穿刺術, 内視鏡的な種々の治療などに参加し, 手技の習得に努める。

6 カンファランス

新入院カンファランス(毎週月曜日)
内視鏡フィルムレビュー(毎週水・金曜日)
外科との手術症例検討会(毎週火曜日)
病理医との胃癌検討会や膵胆道疾患検討会(月1～2回)

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	上部内視鏡 腹部エコー	大腸内視鏡 ERCP	新入院カンファランス
火	超音波内視鏡 腹部エコー 大腸ポリペクトミー	上部内視鏡治療 大腸内視鏡	手術症例検討会, 抄読会
水	上部内視鏡 腹部エコー	胸部血管造影 大腸内視鏡	内視鏡フィルムレビュー
木	超音波内視鏡 腹部エコー 大腸ポリペクトミー	大腸ポリペクトミー 胆道ドレナージ	
金	上部内視鏡 腹部エコー	大腸内視鏡	内視鏡フィルムレビュー